

問い合わせ先  
海洋情報部海洋調査課  
課長補佐 古川 博康  
電話 03 - 3541 - 3815 (内線621)



平成20年6月6日  
海上保安庁

## 海上保安庁による大陸棚限界画定調査の完了について

海上保安庁は、平成20年(2008年)6月5日をもって、海域における大陸棚限界画定調査を完了しました。

### ・概要

海上保安庁は、昭和58年(1983年)から水路測量の一環として、大陸棚限界画定調査を実施していましたが、平成20年(2008年)6月5日をもって本調査を完了しました。

今後は、総合海洋政策本部の総合調整の下、平成21年5月の提出期限までに我が国の大陸棚の限界に関する情報を、国連に事務局がある「大陸棚の限界に関する委員会」に提出するため、大陸棚の限界に関する情報の取りまとめを行います。

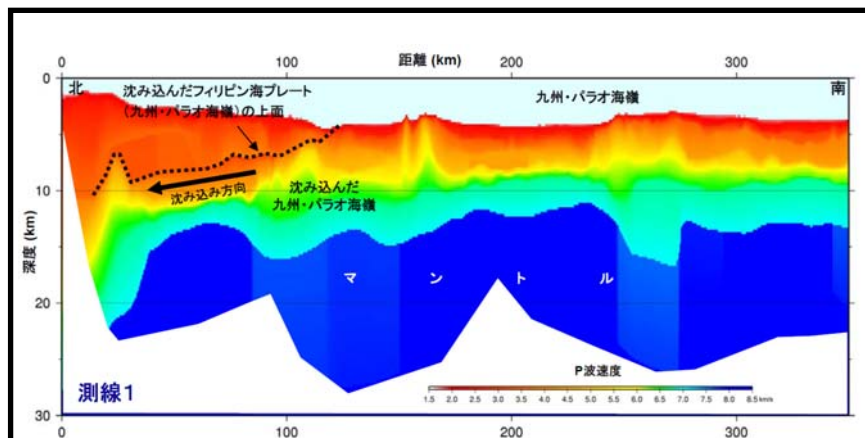
### ・成果

海上保安庁による本調査の成果は、我が国の大陸棚の限界に関する情報の取りまとめを行う際の資料として活用されています。

また、本調査によって、これまで全く未知の世界であった太平洋沖合域の海底地形が明らかになり、新たな地形が数多く発見され、防災や地球科学の発展にも大きく貢献しております。

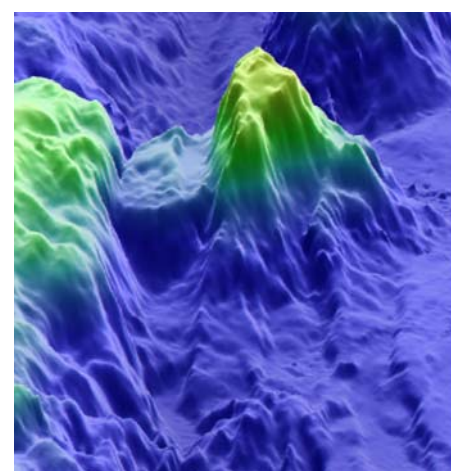
大陸棚限界画定調査の成果の活用例(別紙参照)

大陸棚限界画定調査の成果の活用例



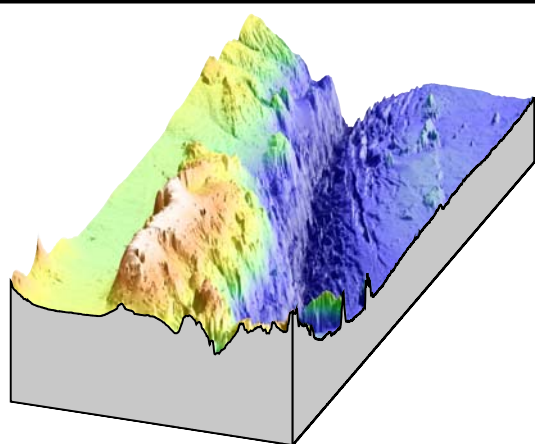
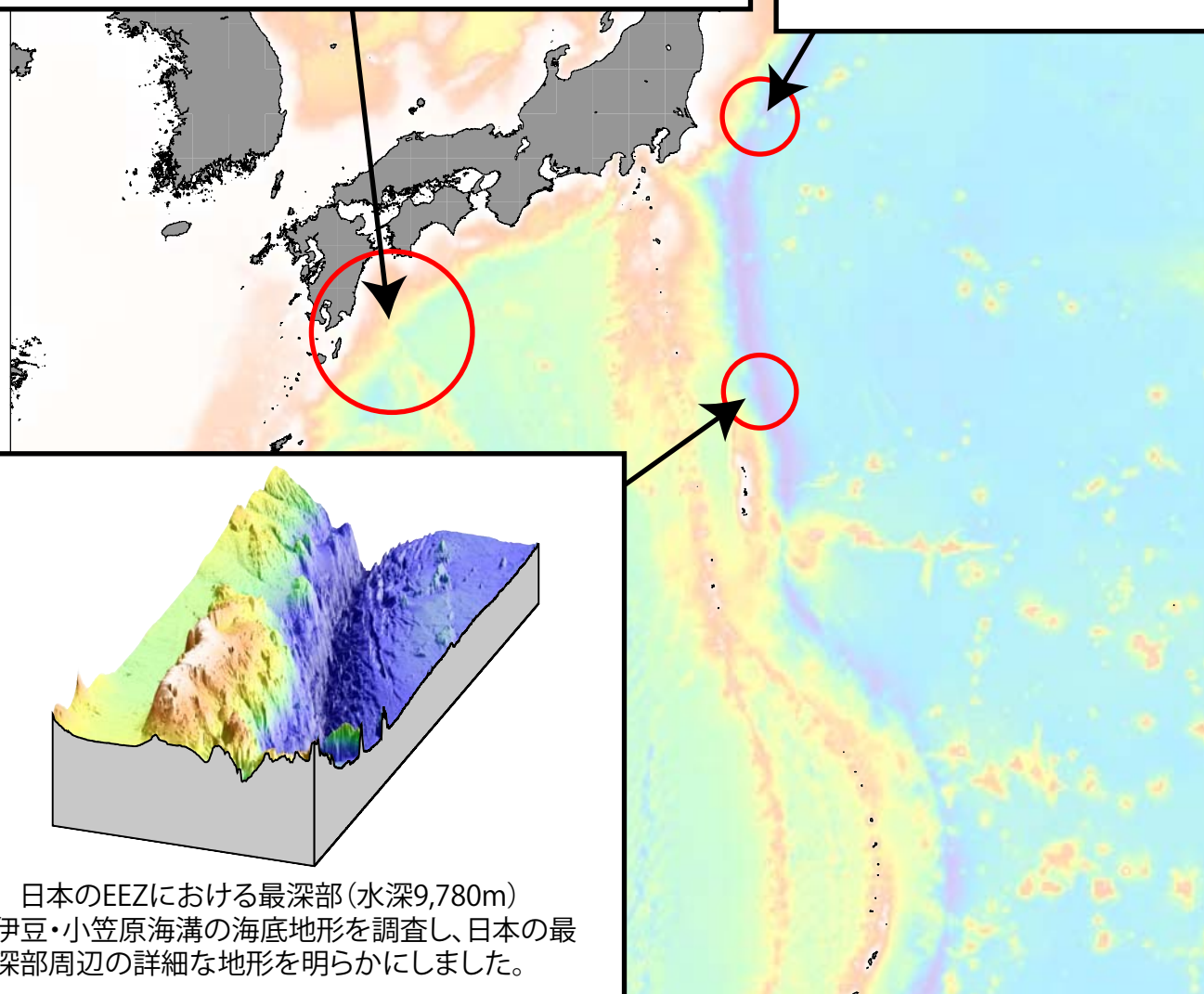
日向灘への海山の沈み込み

平成18年までに日向灘～九州南方海域において実施した地殻構造調査(音波を使用して海底下の地殻の構造を調べる調査)の結果、日向灘の海底下に海底の大山脈が沈み込んでいく様相が初めて捉えられました。



第一鹿島海山

鹿島沖に位置する第一鹿島海山の西半分が、沈み込みによって山体崩壊を起こしている様子を明らかにしました。



日本のEEZにおける最深部(水深9,780m)伊豆・小笠原海溝の海底地形を調査し、日本の最深部周辺の詳細な地形を明らかにしました。